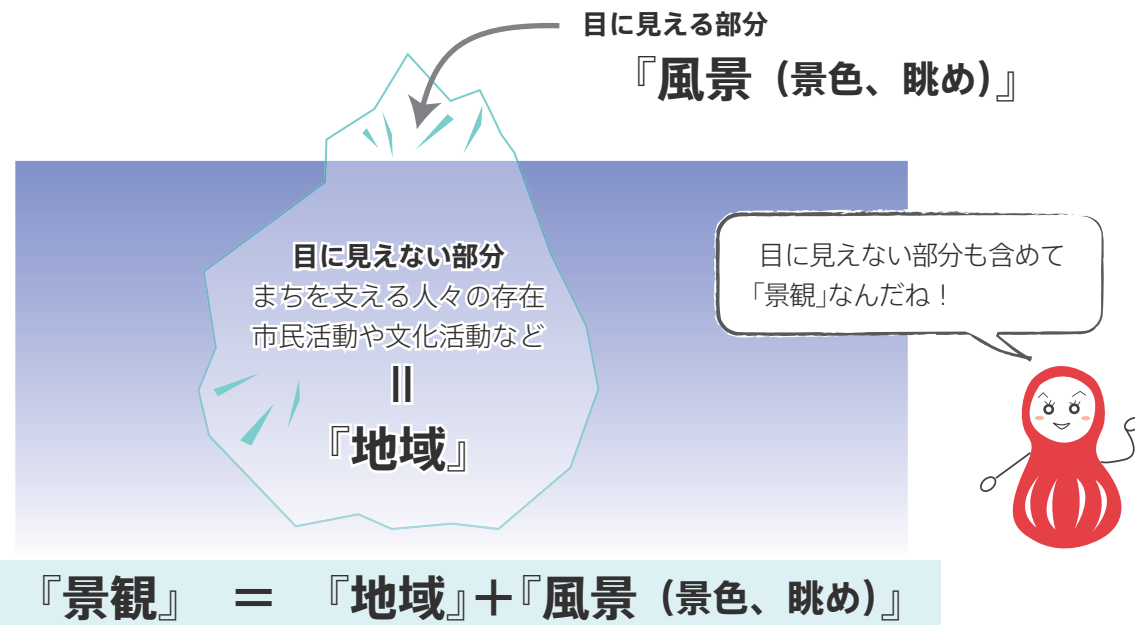


景観は目に見える部分だけじゃない？

景観基本計画策定委員会 後藤春彦委員長(早稲田大学教授)のレクチャーより

『景観』とは何か？

- 景観を氷山に例えて、目に見える部分＝風景（景色、眺め）だけではなく目に見えない部分＝地域の2つを合わせたもので、どちらも大切です。
- 目に見えないところで、景観を支えている人々の存在や地域活動が、良好な景観の形成に必要であることは、重要なポイントです。



愛着のある景観を。

深大寺元町在住 石川 初さん(早稲田大学非常勤講師)のレクチャーより

身近な景観を意識するためには、その場所に愛着を持つことが重要です。

その方法の一つとして、「時層写真」を紹介します。

右の写真は、布多天神社です。白黒写真は50年ほど前にここで撮影した祖母の写真です。現在の場所に、過去の写真を重ねてみるとぴったりと重なります。祖母が立っている場所や祖母を撮影している祖父の姿などを感じ、いつもの景観がより愛着のある景観になります。



調布市では、景観基本計画の策定過程等をわかりやすく、景観だよりでお知らせをしています。

発行 調布市都市整備部 都市計画課 都市計画係

Tel : 042-481-7453 Fax : 042-481-6800 mail : tikubetu@w2.city.chofu.tokyo.jp

ちょうふ 景観 だより

第3号

平成23年11月25日発行



第2回調布市景観基本計画策定委員会 を開催しました。

第2回調布市景観基本計画策定委員会を、平成23年10月3日(月)に開催しました。当日は12名の委員の方にご出席いただき、調布市らしい景観形成について検討しました。

■策定委員会での主な議論(抜粋)

- ・景観は、都市計画、環境保全等とも密接な関係があり、様々な分野との連携が必要である。
- ・深大寺周辺などの景観の「図」(軸)になる部分は骨格として示した上で、「地」(背景)になる景観を市民が育てていくことが重要である。
- ・駅前、商店街の成り立ち、地域性なども考慮に入れた検討が必要である。
- ・日常的に安全・安心を感じられる景観には、それらを支える良好なコミュニティが地域に根づいていることが重要である。
- ・風景や景色としては見えない部分で良好な景観を支えている市民活動、景観学習の支援や実践が大切である。
- ・幅広い世代に対して分かりやすいものとなるよう、表現に配慮する必要がある。など

これらの策定委員会での議論をもとに、景観基本計画を策定していきます。

今号の目次

- 第2回調布市景観基本計画策定委員会を開催しました。(1ページ)
- 第3回・臨時 調布市景観基本計画市民検討会を開催しました。(2~3ページ)
- 景観は目に見える部分だけじゃない？ 愛着のある景観を。(4ページ)

第3回・臨時 調布市景観基本計画

市民検討会を開催しました。

10月25日(火)に第3回調布市景観基本計画市民検討会を開催しました。当日は、22人の市民検討会委員にご出席いただきました。

今回は、「身近な景観を考える」をテーマに、各委員が自ら撮影した写真を題材にして、身近にある調布市らしい親しみのある景観と気になる景観について検討しました。

また、検討内容をより深めるためには本検討会だけでは時間が足りなかったため、検討会委員の方々の提案により、11月2日(水)に16人の市民検討会委員にご出席の上、臨時の市民検討会を開催しました。



第3回市民検討会の様子



検討会委員が選ぶ『調布市の身近な景観ベスト1』の写真と、その他に気になる景観を撮影してもらった撮影箇所を地図に示したものです。みなさんにとっても身近な景観がこの中にあるのではないのでしょうか。

各グループのまとめ

Aグループ

引き継がれるものからはじめる景観づくり

- 旧道、鎮守の森、坂など引き継がれていくものを大事にした景観づくり
- 空や富士山などが見えるポイントを活かした景観づくり
- 市民活動や地域の安全を支える公園、学校、消防施設などの公共施設の景観づくり
- 鳥のさえずりや虫の音が聞こえる、季節感のある田園景観の保全
- 優先順位をつけた気になる景観の改善

Bグループ

人とつながる、まちとつながる

- 住んでいる人が育て、それぞれの個性が感じられる景観づくり
- 子どもたちの思い出に残る景観づくり
- 地域コミュニティの存在を感じさせる景観づくり
- 手入れされた庭先の緑など、住む人の気づきが伝わってくる景観づくり
- 高齢者などが気軽に散歩したくなるような快適な歩行空間の景観づくり
- 市民交流や地域の絆を深める祭りなど、まちの表情を豊かにする景観づくり
- 住んでいる人や子どもたちが、まちに愛着をもつことのできる活動の実施(花壇管理、道の清掃など)

Cグループ

『創っていくもの』と、『守っていくもの』

- 新しいものと残すもの(橋・坂・路地)のバランスがとれた景観づくり
- 子どもから高齢者までが共感する世代を超えた景観づくり
- 都市の中に田畑などがある、のどかさが漂う景観づくり
- 商店街のにぎわいを活かした景観づくり
- 日常生活に潤いや安らぎを与えてくれる、ささやかだけど身近な景観づくり
- 名称を考えるなど、場所に愛着をもつ意識の育成
- 市民が景観に関心を持ち、検討会などに積極的に参加する意識の育成